

学校の現状及びリスクの把握

本校は、江戸川区中央部に位置している。海拔-2 mであり、津波浸水区域である。東の江戸川、西の新中川に挟まれ、洪水時は3～5 mの浸水が想定されている。

校舎は昭52年に建設されたもので、平成28年に耐震工事が完了している。校舎全周が住宅地となっており、地震後の火災の有無を確認したうえで下校指示を出す必要がある、2次災害時には近隣の篠崎公園に避難することを想定している。

学校の現状（令和7年4月1日現在）

児童・生徒数		教職員数
全校児童・生徒		
467 名		76 名
第1学年	80 名	
第2学年	67 名	
第3学年	87 名	
第4学年	76 名	
第5学年	77 名	
第6学年	81 名	

- 校舎 昭和 50 年建設 ※平成 23 年耐震補強工事
- 登校時刻 午前 8 時 10 分～ 8 時 20 分
- 下校時刻 午後 14 時 00 分～ 15 時 25 分
- 昇降口 北昇降口：1・2・6年生 東昇降口：3・4・5年生
- 登下校時の環境 ・ 校舎東門、南門から登下校

学校の立地環境

- 学校の立地
 - ・ 海拔 2 m（江戸川区ハザードマップにより津波浸水区域）
 - ・ 交通 校舎の東側に 柴又街道（京成バスの停留所あり）
校舎の南側に 鹿骨街道（京成バスの停留所在り）
 - ・ 公園 校舎から東200m先に都立篠崎公園がある
- 自然的環境
 - ・ 校舎の南10kmに東京湾が広がっている
 - ・ 校舎の東1kmに江戸川、西800mに新中川が流れている
- 社会的環境
 - ・ 学区全体的に戸建ての住宅が多い
 - ・ 学区は昔から畑作地が多かったが、現在は宅地が多い。